

トピック ― キャベツの需給動向 ―

平成25年は、キャベツの卸売価格が、秋以降に高値が続き、特に12月には140円/kgとなり、直近10年では最高値となった。

12月の月別の入荷量と卸売価格の関係を直近10年間で見ると、比較的高い相関がみられる中で、平成25年の価格水準が最も高くなっている。

これは、近年、キャベツの加工・業務用需要が高まる中で、

① 夏場の高温、少雨や台風の影響等から小玉傾向となり、特に12月の入荷量が少なかったこと

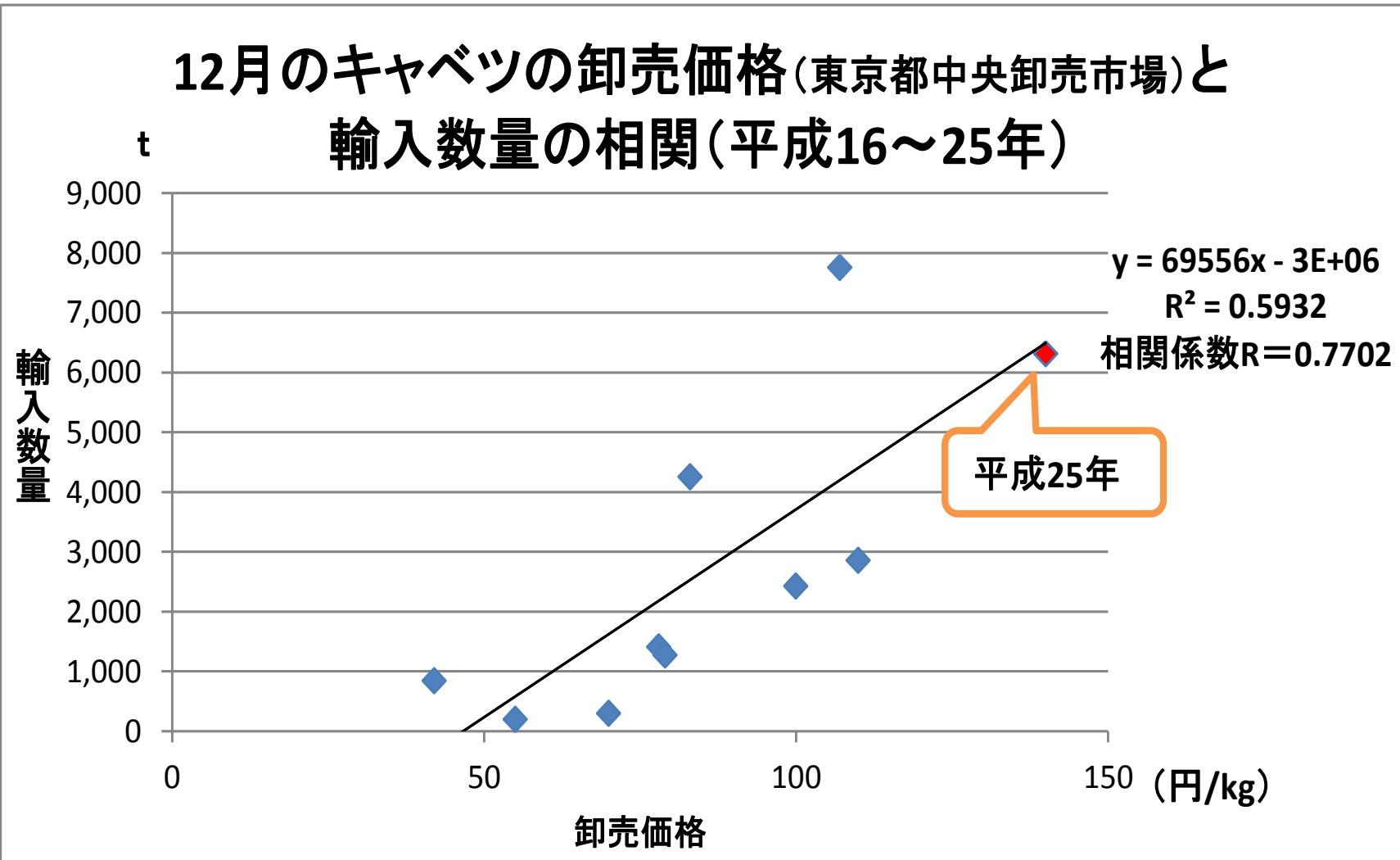
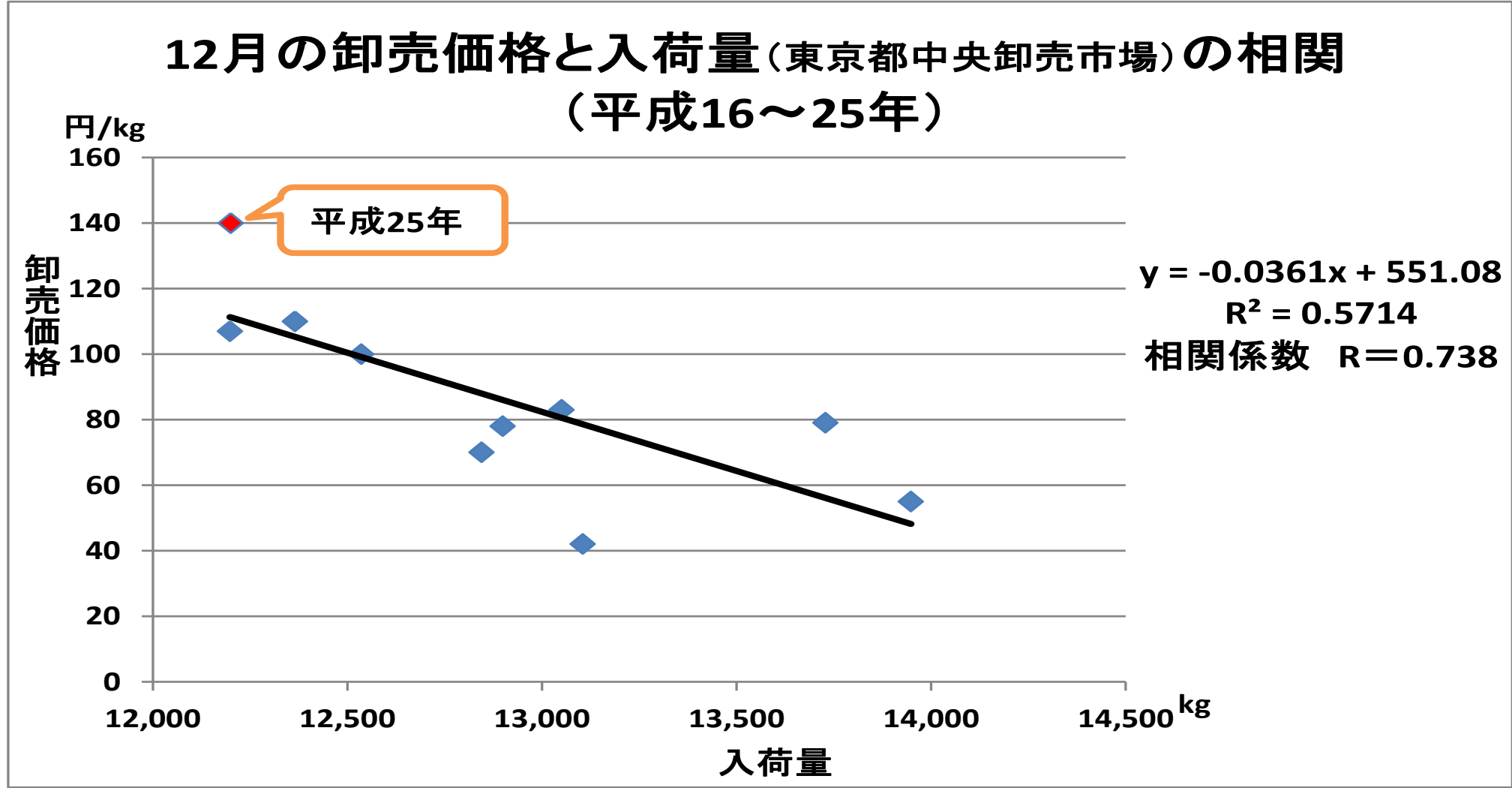
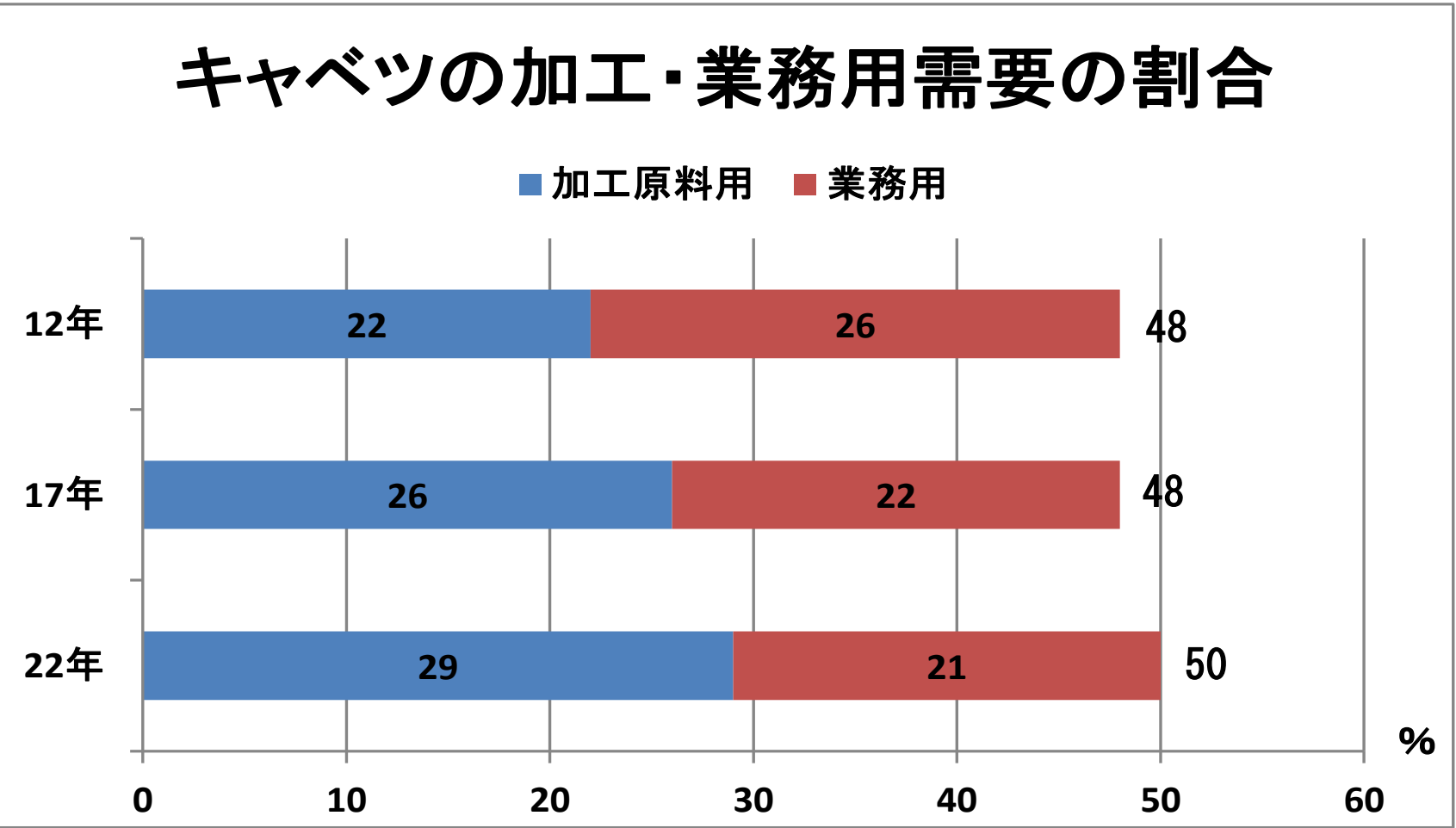
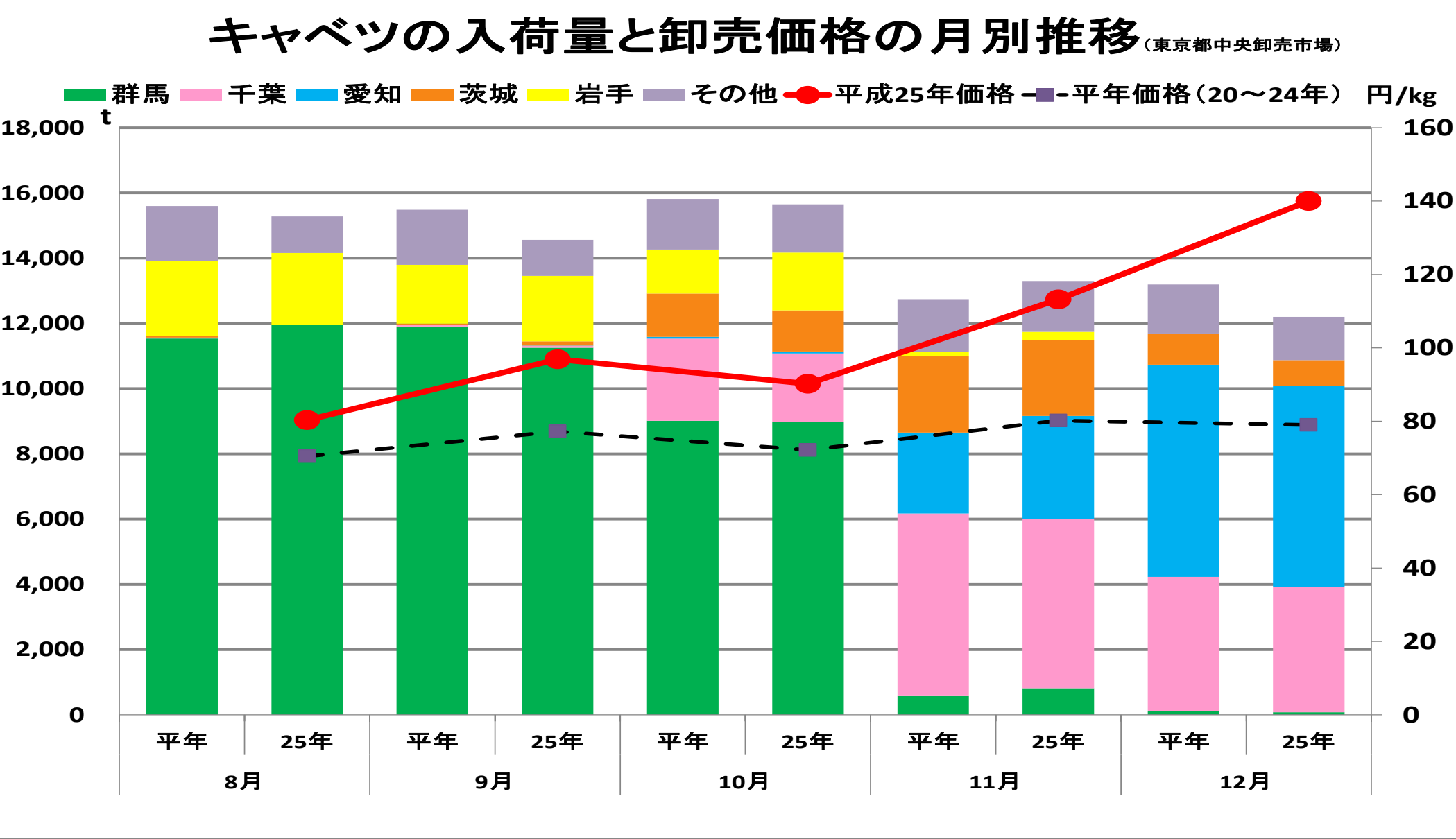
② 年末需要が高まる12月に、加工・業務用の業者が、契約産地の不作に伴う調達数量の減少分を、市場調達により補おうとしたとみられること

等が影響しているとみられる。

また、卸売価格と輸入数量との間には比較的高い相関がみられる中で、12月の輸入数量は前年比5倍の6千トンへと急増した。輸入キャベツの大半は加工・業務用向けとみられており、昨年年初の高値に加え、今冬の高値と品不足もあり、加工・業務用の業者による輸入手当の活発化がうかがえる。

当面、主産地の愛知等では小玉傾向で少なめの出荷が続くとみられる。

今後は、需要が堅調な国産キャベツの加工・業務用産地の育成・強化が、全体的な需給の安定を図る上でも求められている。



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、斎藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。□

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。